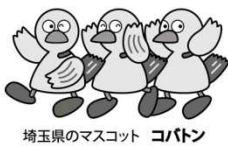


★毎月13日は県内一斉消毒の日です。消毒実施状況の再確認を！



家畜衛生だより

令和7年9月発行 No.7-10（牛）
埼玉県川越家畜保健衛生所
電話：049-225-4141
（夜間、土日祝日は緊急携帯に転送）
FAX：049-226-9653
Eメール：r254141@pref.saitama.lg.jp

第1回目牛ウイルス性下痢(BVD)バルク乳検査 全戸陰性

令和7年度8月28日(木)に実施した第1回目のBVDバルク乳検査は全戸陰性でした。

第2回目の検査は令和8年2月に実施予定です。

発生予防対策

- ✓導入牛(妊娠牛の場合はその産子)は導入後すぐにBVDの検査を行いましょう
※販売用子牛も販売前に検査を行い、BVDをまん延させないように努めましょう。
- ✓BVDワクチンを接種して感染を予防しましょう
ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛には必ず不活化ワクチンを接種してください。
- ✓PI牛と診断されたら速やかにとう汰しましょう
PI牛は完治することはなく、生涯ウイルスを大量に排出し、感染源となります。PI牛と診断された場合には、(一社)埼玉県畜産会の補助事業などを活用し速やかに淘汰しましょう。

引き続き発生予防・まん延防止に
御協力をお願いします。

